

100年を超えて、水産業の未来へ

ニッスイパイオニア館

ニッスイ戸畑ビルは、現在ニッスイパイオニア館としてニッスイの事業や日本の水産業の過去・現在・未来を常設展示しています。外壁は褐色のタイル貼りに縦長の大きな窓が整然と配置され、近代建築のモダニズムの流れを踏襲しています。屋上のアンテナは、1933年(昭和8年)に日本で初めて短波の漁業無線局の許可を受けた後、1936年(昭和11年)に現在のビルに移転した際に設置された送信アンテナです。2009年(平成21年)に北九州市都市景観賞受賞。

所在地	戸畑区銀座2-6-27
建築年	1936年(昭和11年)
アクセス	JR鹿児島本線戸畑駅(北口)から徒歩10分
連絡先	☎093-884-2042
URL	http://www.nissui.co.jp/social/pioneer/index.html



1936年(昭和11年)
当時は日本水産(株)の前身
共同漁業(株)ビル。

ニッスイパイオニア館(ニッスイ戸畑ビル)

1926年(大正15年)近代的な大漁港を作ることが計画され、洞海湾一文字海岸の埋め立てが完了しました。ここにニッスイの前身である共同漁業株が下関から移転してきたのは、1929年(昭和4年)のことです。1937年(昭和12年)には日本水産株に社名変更。これを機に、生産・流通・販売・製氷・冷蔵・加工事業を行う総合水産会社となり、戸畑は、日本を代表するトロール漁業の一大基地として大きく飛躍しました。

1977年(昭和52年)以降、世界各国の様々な規制により日本の遠洋漁業は縮小の一途をたどりますが、それに代って、ニッスイは世界各地に生産・加工・販売のネットワークを持つグローバル企業に発展していきます。

また、現在もニッスイ戸畑工場では、魚肉ハム・ソーセージなどが生産されています。



1930年(昭和5年)の工場風景。
日本で初めての冷凍食品を生産した
当時の戸畑冷蔵(株)。



1936年(昭和11年)、
アルゼンチンに出漁する
トロール船「姫路丸」。

ニッスイパイオニア館の展示室 (ニッスイパイオニア館1F)



歴史展示室



事業展示室



船の展示室

日本の水産業を支えてきたニッスイの100年を超える歴史を
ひもときます。

水産資源の保護、国際的な協働などの取り組みや現在の
ニッスイの5つの事業を紹介しています。

ニッスイの事業を支えた船舶・漁具の模型を展示しています。

※他にもライブラリー、視聴覚室などがあり貴重な資料が見られます。◆開館時間：10:00~17:00(入館は16:30迄)◆休館日：日・祝、年末年始など